



一中の風

No. 2

小金井市立小金井第一中学校 学校だより

VとW (山中伸弥)

校長 門脇 利種

皆さんは、日頃の学習や生活、部活動に取り組んでいるときに、どんなことに気を付けて頑張っていますか。うまくいったとき、成功したとき、成果を上げたときはどういうことに気がついていましたか。そのようなときは、それぞれがさまざまな努力をして取り組んできていることでしょう。



ところで、皆さんには将来の夢や目標があると思います。あるいは現時点でもなくてもやがてもつことがあると思います。それを実現するために大切な言葉があるので紹介します。それはVとWのことです。

これは、iPS細胞の研究で2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授の言葉です。

山中教授は、2006年にマウスのiPS細胞、2007年にはヒトのiPS細胞の作製の成功を報告しています。iPS細胞は日本語で、人工多能性幹細胞といいます。iPS細胞は大きく分けて「再生医療」と「創薬」の二つの分野で人類に多大な貢献をするものです。iPS細胞の作製技術は山中教授をはじめとして多くの人の努力によって生み出されました。

VとWは、山中教授が1993年にアメリカのサンフランシスコのグラッドストーン研究所で、当時の研究所の所長ロバート・メーリー先生から教わった言葉だそうです。あるとき、メーリー先生は、研究所に在籍する人を集め「VとWが大切だ。研究者として成功する秘訣はVWだ。VWさえ実行すれば、君たちは必ず成功する。研究者にとってだけでなく、人生にとっても大切なのはVW。VWは魔法の言葉だ」と話されたそうです。Vは「Vision」、Wは「Work Hard」です。この意味は「目的をはっきりともち、それに向かって懸命に働く」という意味です。

日本人は「Work Hard」は得意で、夜遅くまで働く人、土日でも働く人が日本には大勢います。しかし、いつのまにか目的を見失い、何のために働いているのか分からない状態に陥ってしまう。山中教授自身にもそういう自覚があったので、メーリー先生のVとWの教えが心に響いたそうです。そして、日本人にとって不得意な「Vision」を育てたい、それには教育が大切であると強調されています。

今、世界はグローバル化が進んできています。皆さんが成長し、社会に出て活躍する頃には、ますますグローバル化や情報化が進むと思います。どのような分野に進むにしても、常に世界を意識して仕事をする時代に皆さんは活躍するのです。ですから、皆さんには、自分の夢や希望を叶えるためにも、そして、これからのグローバル化社会のなかで、世界で活躍する人となるためにも、ぜひとも「Vision」と「Work Hard」の意味するところを考え、実行してほしいと思います。そのためにも、まずは、自分で考えることと自分でアイデアを出すことを心がけましょう。どうしたらできるようになるのか、指示待ちではなく、常に自分で考える習慣を身につけてほしいと思います。そして、そのうえで、目的をはっきりともち、それを実現するために懸命に努力し続けてほしいと思います。がんばってください。

運動会にむけて

5月31日(水)

6月3日(土)に実施される運動会に向けて運動会の予行が行われました。クラスの団結力が試される学年種目。予行での結果をお伝えします。さて、当日はどのようなでしょうか。

学年種目(予行)結果

1学年 「大なわ」	2学年 「中むかで」	3学年 「大むかで」
A組…41回	1位…C組	1位…E組
B組…18回	2位…A組	2位…A組
C組…40回	3位…B組	3位…C組
D組…34回	4位…D組	4位…B組
G組…39回		5位…D組



台風の接近に伴い6月3日(土)の実施が天候的に危うい状況となっております。雨天延期の場合はスクールメールにてお知らせします。(6:30 予定) また、ホームページにも掲載します。

6月3日(土)が雨天時の場合は休業日となり、6月6日(火)に延期します。(この日は給食があります。) その場合、6月5日(月)は通常授業です。(この日はお弁当持参となります。)

(観覧についてのお願い)

- レジャーシートなどでの場所取り、座っての参観、食事をご遠慮願います。
- 熱中症予防のため、適宜水分の補給をお願いします。
- 密にならないように譲り合っての観戦をお願いします。
- PTA 広報係が広報誌の取材のため腕章をつけて撮影を行います。